

ようこそ香南市へ！

高円宮妃殿下 御来高

5月16日(金)花・人・土佐であい博「ジャパンフラワーフェスティバル2008inこうち」に来高された高円宮妃殿下が、香南市内の企業や知的障害者授産施設などを訪問されました。赤岡町弁天座で休憩された後、絵金蔵を見学。横田蔵長に絵師金蔵の説明を受け、興味深そうに「蔵の穴」をのぞき込まれ、絵金屏風絵の質問などをされていました。

ひと目見ようと詰めかけた観客に、妃殿下はにっこりほほえまれました。



いざなぎの里から絵金の町へ

春の塩の道お試しウォーク



5月9日(金)香美市大栃「奥物部ふれあいプラザ」から香南市赤岡「絵金蔵」まで約30kmの道のりを歩く「塩の道お試しウォーク」が行われ、52人が参加しました。塩の道は「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選ばれており、美しい景色と数々の見所があります。香北町の黒見休憩所(桜公園)では塩の積荷体験が行われ、実際に運ばれていた約40kgの重さを体感しました。

赤岡に到着し、道を振り返ると、今まで歩いた山々が一望、参加者から感動の声があがりました。

祭り名物
「長平汁」が大人気！



手作りいかだに思いを乗せて

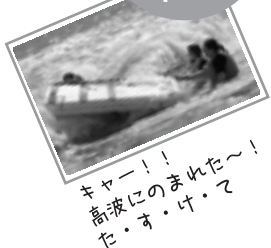
第11回無人島長平まつり



5月11日(日)香我美町岸本の海浜で、今年で11回目となる無人島長平まつりが開催され、約1,500人の観客が楽しみました。この祭りは、同町出身の野村長平が約200年前に、13年間の無人島生活から無事生還したことを記念して始められました。この日は、初開催の小学生相撲大会が行われ、白熱した取組に観客は、勝負の行方を目を凝らして見入っていました。

また、メインの手作りいかだレースでは、すべての部門で最多の計23チームが出場。波間で転覆するなど四苦八苦するチームがありましたが、全員無事レースを完走。疲れ切った選手を観客からは、歓声と拍手で迎えていました。

いかだレース
結果



きゃー！！
高波にのまれた～！
たすけて

- 【親子の部】
- 1位 山北こども会
- 2位 ネイチャー
- 3位 FuMo FuMo
- 【女性の部】
- 1位 KaChu
- 2位 健診へ行こう!!
- 3位 山北こども会
- 【一般の部】
- 1位 ネイチャー
- 2位 海人
- 3位 西川消防分団



ぐう~っと！見事な飲みっぷり

第52回土佐赤岡どろめ祭り

4月27日(日)赤岡海浜で52回目の土佐赤岡どろめ祭りが、同実行委員会の主催で今年も盛大に開催され、約6,000人の見物客でにぎわいました。

会場では吹奏楽の演奏を皮切りに、砂浜の特設ステージで赤岡民謡クラブの「どろめ音頭」や市内の銀行支店長らによる「白波五人男」などで盛り上がりました。また、海上では勇壮な漁船パレードが披露されました。メインイベントの大杯飲み干し大会には男性13人、女性12人が挑戦。名物行司の「ぐう~っと、ぐう~っと」の声に押されるように杯を傾け、飲み干す豪快な飲みっぷりに客席からは拍手喝さいでした。

大杯飲み干し大会入賞者

- 男性 (一升)
 - 優勝 大原健一(35歳:高知市)15.02秒
 - 女性 (五合)
 - 優勝 公文菜穂(30歳:高知市)13.08秒
- 飲むときのマナー・飲みっぷりも審査対象です

注意

お酒は二十歳になってから！無理な一気飲みも禁止です。



うす紫のカーテンゆるる

第26回大蛇藤まつり

5月6日(火)香我美町舞川地区にある大蛇藤が見ごろを迎え「大蛇藤まつり」が同実行委員会主催で開催されました。今年は表年で、近年まれにみる美しさ。イベントに約400人が詰めかけました。

会場では宝探しや子どもクイズ大会、もち投げも行われ、11人しか住んでいない地区が大きな歓声に包まれました。実行委員長の小松光広さんは「これからは東川まちづくり協議会と協力して続けていきたい」と来年への意欲を語りました。



ゴールデンウィークはイベント満載！

アカシアの花まつり



5月3・4・5日の3日間ヤ・シパークでは「アカシアの花と香り、海と空をのんびり楽しんで」をコンセプトに、道の駅やす主催の「アカシアの花まつり」が開催され、豪快な吾北一番風太鼓の演奏やダンス、竹ドームの制作イベントなどで盛り上がりました。

3日目はあいにくの雨模様でしたが、昔遊びや6人乗りヨットの体験乗船会など、雨の中でも来場者は童心に帰り、思い思いの「こどもの日」を満喫していました。